討 論

國際照明會議の公用語に就て

正會員 黒澤涼之助

PRI LA OFICIALA LINGVO EN LA INTERNACIA

KONGRESO ILUMINTEKNIKA.

De Ryónosuke KUROSAWA, Membro.

<p>Sinoptiko: La Japana Komisiono Iluminteknika proponu al la Internacia Kongreso Iluminteknika, kiu havos lokon je la venonta aŭtuno en Anglujo, por</p>	<p>ke ĝi permesu Esperanton kiel sia lingvo oficiala, mi deziras. Kaj mi kore esperas miajn samideanojn kunklo- podi en la afero.</p>
---	---

明年秋イギリスに於て開かれる國際照明會議に當り、我が日本照明委員會よりエスペラントを公用語と認める件を提案せられるやう、私は希望する。

かやうな國際的會合に於て言語の相違が如何に困難な問題となるかは何方も認められやう。其解決方法として或る國語を公用語とすることが行はれる。之が不充分であることは明らかである。充分な解決の鍵は中立的な國際補助語のみである。

國際語にも數多くあるが、此鍵たるものはエスペラントより外にはないと、私は信ずる。細かいことは述べてない。エスペラントの優秀は其普及が最も良く之を證明する。

上の提案と共に、本學會雜誌の表紙にイギリス語を見るやうな、また外國への文書をイギリス語で記すやうな、國辱は止めて頂きたいと、併せて御願ひする。

貴重な紙面を拜借して、敢て會員諸氏の御高見を仰ぐ。御賛成下さることを、切に御願ひする。

'30/IX/5

(編輯幹事追記) 本學會雜誌の表紙及び内容梗概の一部を英字を以て記すことは外國同學の士に本學會雜誌の内容を知らせるためであつて、それに關しエスペラントの普及云々に就ては黒澤氏の御意見とは相違するから單に遺憾の意を表するの外はない。